Education magazine（尾花沢市教育委員会通信）

輝け！おばねっ子

第２８号
令和６年９月９日
※毎週月曜日発行予定です

～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～

これまでの「輝け！おばねっ子」は上のQRコードからご覧いただくことができます

算数・数学を通して、考える面白さに触れてみませんか

第15・16号で、今年度の全国学力・学習状況調査について「現在、求められている力を探る」のテーマで取り上げました。

先日、国からの正式な公表が発表され、本市の状況は、全国平均正答率と比べると右の表のようになりました。算数・数学の本市の課題を受け、令和４年度より「算数・数学未来塾」事業に取り組んできましたが、今回、中学校で改善傾向がみられたことをうれしく思います。

校種	国語	算数・数学
小学校	下回る	下回る
中学校	やや下回る	概ね平均

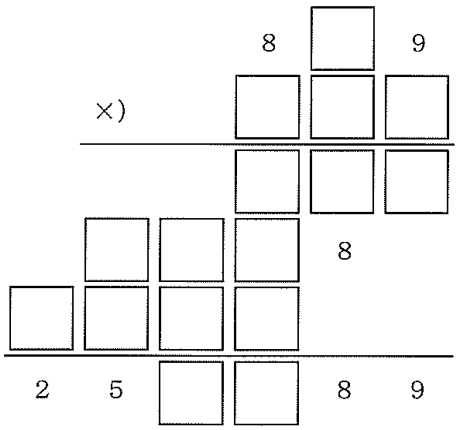
以前、山形県全体で算数・数学に大きな課題が見られたとき、「根気強く考え続ける力を育成し、物事を探究しようとする知的好奇心を持たせる」ために、「算数・数学チャレンジ in やまがた」が実施されました。学年を問わず参加でき、小学校５問、中学校５問を90分で考えるテストを希望制で受験できるもので、読者の中にも参加された方がおられるかと思います。

当時、数学担当の私もチャレンジしました。大人でもなかなか骨の折れる問題ばかりですが、それだけに答えを導いたときの爽快感はひとしおでした。

次に、問題の一部を紹介いたしますのでチャレンジしてみてください。そして、答えを導いたら「**どうやって（方法）、なぜ（理由）**その答えになったのか」を誰かに説明してみてください。

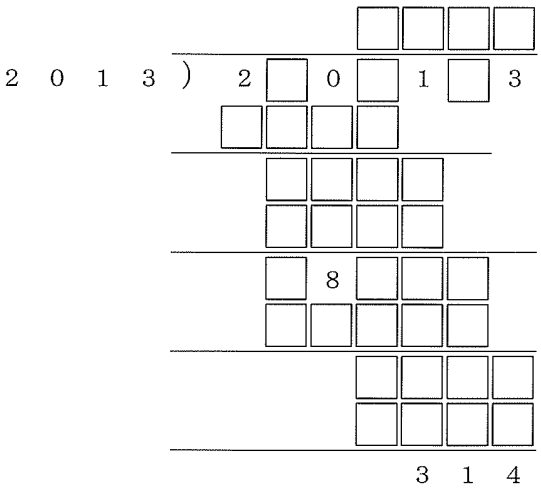
小学校

下の筆算が成り立つように、□の中に０～９までの数を１つずつ入れましょう。ただし、おなじ数を何回使ってもかまいません。



中学校

下の筆算が成り立つように、□の中に０～９までの数を１回ずつ入れなさい。ただし、同じ数を何回使ってもよいものとします。



次の号で解答をお知らせしますが「すぐにでも正答かどうかを確認したい」という場合は、学校の先生か、右記担当に問い合わせてみてください。

【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課
教育指導室長　工　藤　雅　史
ＴＥＬ　２３－３３３０